

練馬区独立70周年記念区民協働事業 企画提案書

平成28年8月18日

練馬区長 様

団体名(一社)日本排出量取引支援機構
 代表者(個人)木暮 徹 印

練馬区独立70周年記念区民協働事業について、下記のとおり提案します。

記

1 提案イベント

(1) イベント名	エコファミリー100万人プロジェクト【省エネ宝くじ発表会】		
(2) 実施期間	2017年4月1日()～2020年3月31日()		
(3) 実施場所	練馬文化センター		
(4) 事業費	4,000,000円	補助金申請予定額	1,000,000円

2 提案者情報

(1) 団体名 ※個人提案の場合は記入不要	一般社団法人 日本排出量取引支援機構		
(2) 代表者(個人)名	木暮 徹		
(3) 代表者(個人)住所	練馬区 大泉学園町 5-11-18-305		
(4) 代表者(個人)連絡先	電話 080-5513-6542 メール spirits623@yahoo.co.jp		
(5) 事業費	4,000,000円	補助金申請予定額	1,000,000円

練馬区独立 70 周年記念 区民協働事業 事業計画書

イベント名	エコファミリー100万人プロジェクト【省エネ宝くじ発表会】
-------	-------------------------------

1 イベントの内容

(1) イベントの概要
現在の都知事小池百合子氏が考案したエコファミリーは環境省が推進する温暖化対策の一環として家庭から始まった国民運動である。当時は2万人くらいしか登録出来なかったが、東京都にも働き掛ける事で練馬文化センターからイベントを始め、3年間で区民の1割をエコファミリーに参加してもらう。練馬区が省エネ分を買取るネガワット運動で公共施設から排出するCO ₂ を相殺(カーボンオフセット)する練馬発のモデル事業
(2) 提案に至った経緯
私は元練馬区の環境委員で20年以上前から、公共施設の維持管理削減を訴えて、削減したコストを地域の活性化(環境推進や防災)に振替える省エネ事業を提案してきた。しかしながら、練馬区には人材がないために、考案したのがエコファミリーである。考案者は当時の環境大臣小池百合子氏で私たちNPOが主催の【こどもとおとなの環境会議(武蔵大学於)】にも支援をいただいた経緯もある為、当時の2万人から東京都で100万人参加を目標に、まずは練馬区から配信する為のイベントである。イベントには都知事の小池百合子氏を招へいし、練馬区にエールを頂く予定である
(3) 提案団体ならではの特色・工夫
私は内閣府認証のNPO地球環境融合センターの事務局長で【街ごと省エネ】をコンセプトに先進的な自治体で施設の維持管理費を激減させるエスコ事業を設計してきた。その為に国から自治体向けに出す補助金申請を手伝い、導入後はIoTによる効果検証をしてきたので、第三者認証機関として国に報告出来る唯一の団体である。現在開発中の省エネナビCO ₂ は総務省の開発モデルとして補助金をいただけるのでまずその実証を練馬区でやれば、3年間で26%のCO ₂ 削減が可能になる。ホームページmieruka-co2.jpでも練馬区への提案として発表しているので区にも積極的に協力を要請したい(省エネナビは国が認めた見える化装置で私が設計した機器である)
(4) 区民の参加(対象者、参加者数の規模、内容等)
小学生高学年以上であれば誰でも参加できる、武蔵大学の講堂で開催した【こどもとおとなの環境会議】と同じモデル。特に『家庭の省エネで世の中の流れを変えよう』がテーマなので小学生・中高生中心に環境やリサイクルの取組の発表をしながら、ケータイ会社やイオン・東京ガス等の協賛で携帯エコポイントへの参加を働きかける。事前に区の協力があれば区民センターで500名を集客予定。
(5) 未来へのつながり

かつて私が省エネナビを配布した教育モデル校の小中学生は成長し、ニューファミリーを築く世代となった。スマートメーターが開発されたからといって、省エネナビが不要になったというのは認識不足である。スマートメーターは電気やガスの料金を支払う為のモノであるが、**省エネナビCO2は省エネ分を購入してもらうメーター**であり、練馬区に住んでいる限りは区からナビが貸与されるお得な新モデルである。

2 実施までのスケジュール・予定

(1) スケジュール・内容等	
年 月	
2016年9月	社団のホームページで事業説明 (小池百合子都知事に支援要請) 練馬文化センターと区庁舎の省エネ診断を実施(無料)
2016年10月	社団のセミナーで【ファミリーエスコ事業】として広報
2016年10月	東京都へ【エコファミリー100万人プロジェクト】を提案
2016年10月	エコ検定の上位資格として【省エネ創エネ蓄エネ検定】を発表
2017年4月1日	練馬文化センターでエコファミリー100万人プロジェクト発表
2018年4月1日	練馬文化センターでエコファミリー100万人事業中間報告会
2019年2020年	2019年は4月1日 2020年は3月末にエコファミリー会員数報告

練馬区独立 70 周年記念 区民協働事業 収支予算書

イベント名	エコファミリー100万人プロジェクト【省エネ宝くじ発表会】
-------	-------------------------------

1 事業の予算

収入	金額 (円)	内訳
		ボランティアの為に収入はゼロ
計 (A)		

支出	金額 (円)	内訳
登録ソフト開発	300 万円	光熱水費と通信費登録用アプリ開発
レンタル料	80 万円	会場に持込むエコグッズやガス発電機
諸経費	20 万円	学生へのアルバイト代等
計 (B)		
補助金の 活用方法	※補助金の活用方法（金額，内訳等）を記入してください。	
	ファミリーエスコ事業の小冊子印刷代金【1000 冊】	
他の補助金の 有無 (申請中を含む)	<input type="checkbox"/> 有 () ◆無	